

愛媛の水平社

四国中央市、西条市、今治市、松山市、東温市
伊予市、大洲市、宇和島市、愛南町



荊冠旗

1923. 4	全国水平社支部が温泉郡（現東温市）に設立される
1924. 9	全四国水平社大会が松山市の寿座で開催される
1926. 1	県水平社大会が今治市で開催される
1927. 2	県水平社大会が宇摩郡（現四国中央市）で開催される
1929. 2	県水平社大会が松山市で開催される
1935. 8	県水平社大会が新居郡（現西条市）で開催される

大正 11（1922）年、3月3日京都の岡崎公会堂で全国水平社創立大会が開催された。水平社の創立は、被差別部落の人々に勇気と希望を与えるとともに、差別に苦しむ全ての人々の心のよりどころとなった。以後、差別解消を目指して、全国各地で水平社の支部が設立された。

愛媛県では、大正 12（1923）年 4月 18日、松浪彦四郎や徳永参二らの有志によって、全国水平社支部が温泉郡（現東温市）に創立された。当日の発会式は、開会の辞に続いて、支部宣言及び綱領の朗読、役員による演説、諸課題についての協議等が行われ、盛会のうちに閉会した。この模様取材した記者は、「心からの微笑を拒絶されていた彼等の燃え上がる魂が、輝かしい太陽の下に、瑞みづみづしい大地の上に、人間礼讃の烽火が、我東温の一角に挙げられた！」（愛媛新報 大正 12年 4月 20日付）と記している。

全国水平社支部の創立を契機に、県下各地で支部の設立が進んだ。その結果、東温市の外、現在の四国中央市、西条市、今治市、松山市、伊予市、大洲市、宇和島市、愛南町に水平社の支部が設立された。

本県水平社は、他県の水平社と提携するとともに、差別問題の解決、水平社運動の宣伝、労働組合や農民組合との連携、機関誌の発行等を通じて差別解消に努めた。

大正 13（1924）年 9月 20日には、松山市の寿座で全四国水平社大会が開催され、西光万吉をはじめ、県内外から多くの人々が会場に詰めかけた。また、大正 15（1926）年には、はじめて県の水平社大会が今治市で開催され、以後、場所を変えながら県下各地で開催された。しかし、昭和 12（1937）年に日中戦争が始まると戦時色が強まり、次第に水平社の活動もできなくなった。

[参考資料]

- 近代史文庫大阪研究会 『愛媛県近代部落問題資料・上巻』『同・下巻』
愛媛県史編さん委員会 『愛媛県史 社会経済 6 社会』